

没後百年記念
企画展 2017

日本の工学の父

山尾庸三

山尾家から萩市に寄贈された貴重な資料を展示！ 大部分が初公開となるこの機会をお見逃しなく！！

平成28年(2016)3月、山尾家から萩市に、約1,000点にも上る資料が寄贈されました。本年は山尾庸三^{やまおようぞう}没後100年という節目の年にあたることから、これを記念し、貴重な資料の一部を初公開いたします。

山尾庸三(1837~1917)は、幕末にイギリスへ密航し、5年間の留学生活を送りました。帰国後、明治政府で工業化政策を担当します。庸三は工部大学校(現在の東京大学工学部)の創設に尽力したことをはじめ、日本が工業国として自立する上で最も重要な^{もうあ}工学教育の基盤形成に貢献したのです。また、庸三が早くから盲啞教育の必要性を主張し、盲啞学校の設定に関与していたことも高く評価されています。

本展では、従来「長州ファイブ」の一人として紹介されることの多かった庸三の人物像を、家族や友人などとの関係・交流にも注目し、多角的な視点から紹介します。



明治37年(1904)鎌倉の別荘での庸三(68歳)と娘・孫たち

超貴重！
庸三が
使った遺品

「長州ファイブ」がイギリス留学中に使用した器物の残存例は、この鋸(ノコギリ)と鉋(カンナ)の2点しかありません。



鋸(ノコギリ)と
刻銘部分拡大



鉋(カンナ)と
刃部刻銘部分拡大(左)
台木刻銘部分拡大(右)



工学会より送られた庸三のレリーフ入り表彰メダル

国内現存最古！
ロンドン大学
の優等証

庸三は日本人初のロンドン大学留学生の一人でした。アレキサンダー・ウィリアムソン教授に化学を学び、優秀な成績をおさめたことがわかります。



庸三が書いた盲啞学校・聾啞学校設置の意見書(前半の一部分)

ギャラリートーク

9月16日(土)

10月7日(土)

11月11日(土)

12月2日(土)

各日午後2時~

担当学芸員が展示解説します
開始5分前に企画展示室入口
にお集まりください。

参加費無料

ただし観覧料は必要となります。

薩長「志」シンポジウム

「長州ファイブ」や
「薩摩スチューデント」の
「志」に学びます。

開催日 10月29日(日)
午後2時~5時

場所 萩市民館 大ホール

受講料 無料(要事前申込) ※詳細は萩市報 9月1日号をご覧ください。

基調講演で

東進ハイスクール
東進衛星予備校 現代文講師

林修氏

が講演されます。



開館時間/午前9時~午後5時
(入館は午後4時30分まで)
休館日/なし(年中無休、年末年始も開館)
駐車場/有料
普通自動車(軽自動車を含む)93台(1回 310円)
大型自動車(マイクロバスを含む)8台(1回 1,030円)
※ただし萩市民は無料
観覧料/大人 510円、高校・大学生 310円、小・中学生 100円
[団体割引] 20名以上 20% [障がい者割引] 20%



萩博物館

- 交通アクセス
- ◎ JR東萩駅よりタクシー10分/徒歩30分
 - ◎ JR新山口駅よりバス70分、直通バス約60分(萩バスセンター下車、徒歩20分)
 - ◎ 萩・石見空港より乗合タクシー約75分(予約制 前日までに申込が必要)
 - ◎ 山口宇部空港より乗合タクシー約75分(予約制 前日までに申込が必要)
 - ◎ 萩バスセンターよりまあーるバス 西回り6分「萩博物館前」下車すぐ
 - ◎ 中国自動車道美萩東JCT →小郡萩道路(無料)絵堂ICより20分

〒758-0057 山口県萩市大字堀内355番地
TEL.0838-25-6447 FAX.0838-25-3142
http://www.city.hagi.lg.jp/hagihaku/
https://www.facebook.com/hagihakufan/
E-mail:muse@city.hagi.lg.jp

